

船舶事故調査報告書

令和2年11月4日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年11月2日 10時10分ごろ
発生場所	福井県小浜市小浜港 小浜港沖防波堤灯台から真方位016° 190m付近 (概位 北緯35° 30.2′ 東経135° 44.0′)
事故の概要	手漕ぎボート（船名なし）は、漂泊中、消波ブロックに乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年11月6日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	手漕ぎボート（船名なし）、総トン数なし（長さ約3m） なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者、操縦免許 なし
負傷者	なし
損傷	船底部に亀裂
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、操縦者が1人で乗り、小浜港沖防波堤付近で釣りをを行うとともに船内に滞留した海水の排水作業を行いながら漂泊中、防波堤の消波ブロックに乗り揚げた。 操縦者は、排水作業中に風向が変わったことに気付かず、防波堤に寄せられたと本事故後に思った。
分析	本船は、漂泊中、風向が変わり小浜港沖防波堤に寄せられている中、操縦者が、船内に滞留した海水の排水作業を行いながら漂泊を続けていたことから、圧流されていることに気付かず、消波ブロックに乗り揚げたものと推定される。
原因	本事故は、本船が、漂泊中、操縦者が、船内に滞留した海水の排水作業を行いながら漂泊を続けていたため、圧流されていることに気付かず、消波ブロックに乗り揚げたものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 防波堤等の付近で漂泊する場合は、風向及び風力の変化に注意し、防波堤等への接近状況を把握すること。